# P388

305226

□要

□明

P388□´DBA/2マウスの自然リンパ球性白血病に由来するマウスリンパ系新生物細胞株である。癌研究、特に白血病の研究や抗癌剤の試験によく用いられる。 P388細胞□懸濁液中で増殖し、最適な培養条件下で約24時間の倍加時間を示す。この細胞 □急速な増殖と化学療法剤に対する高い感受性を特徴としており、新しい癌治療の有効性を評価するための貴重なツールとなっている。

P388細胞□、表面免疫グロブリンやB細胞に関連する様々な細胞表面抗原など、リンパ球系の典型的なマーカーを発現する。研究者 □しばしば、腫瘍の増殖、転移、治療に対する反応を研究するために、マウスに接種して in vivoモデルでこの細胞株を利用する。さらに、 P388細胞株□、特定の癌遺伝子や癌抑制遺伝子の役割など、白血病の根底にある分子メカニズムを研究するためのモデルとしても役立っている。

P388細胞株□広く使用されているにもかかわらず、ヒトとの関連性の欠如や長期間の培養による遺伝的ドリフトの可能性などの限界がある。そのため、研究者□白血病の生物学的性質や治療反応を包括的に理解するために、 P388細胞を用いた研究を他のモデルで補完することが多い。

| | |
|---|---|
| 病気 | マウスリンパ腫 |

同義語

- P-388

分類

| | |
|---|---|
| 生物 | マウス |
| セックス | 女性 |
| 成長特性 | サスペンション |
| バイオセーフティレベル | 1 |

特徴

| | |
|---|---|
| 細胞の種類 | プレB細胞 |

識別子

引用

P388（Cytion カタログ番号 305226）

| | |
|---|---|
| **NCBI** 納税者番号 | 10090 |
| セロサウルス | CVCL_7222 |

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640´w：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

| | |
|---|---|
| 培養雰囲気 | 37°C´5%CO2、加湿雰囲気。 |

サプリメント

培地に10% FBSを加える

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

継代培養

懸濁細胞：新しいメデュームでピペッティングし、細胞を基質から除去する。単一細胞を得るに □、懸濁液を22ゲージの針に数回通し、新しいフラスコに分注する。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

## 品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染□′PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、細胞培養物 □毎日目視検査が行われる。

| | |
|---|---|
| 凍結培地 | 凍結保存培地として□、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、また□回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。 |

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存□、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された細胞株□、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

## 寄付者

| | |
|---|---|
| 品種／亜種 | DBA/2 |

## 法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣 □不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中また□液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中に □、フェイスマスクまた□安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これ □、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオン□、製品の品質と生存率を保証します。
当社で□、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／また□製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳細について□′<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

| | |
|---|---|
| 物質移転契約書の締結が必要 | Yes |

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB